

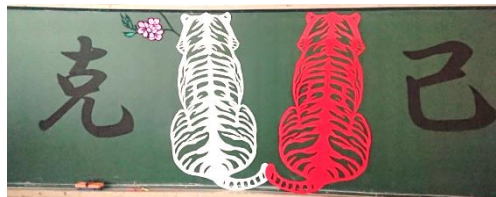
2022年(令和3年)がスタートしました

新しい年が明け、まもなく2週間になろうとしています。今年はどういう年になるのでしょうか？3学期から池島小中学校には新たに小1・小3の女子児童が加わりました。さっそく元気に自己紹介を行い、それぞれ英語、国語をがんばりたいと述べました。



そして、先輩である中学生の池島っ子は、間近に迫った受験に向けてさらにながらうとする決意を、そして小学生の池島っ子 Jr は、中学校生活に向けた意識を高く持って生活しようとする思いを発表しました。

子どもたちが多くの場面で活躍し、それぞれ大きく成長していくよう、私たちも精一杯努力していきたいと思えます。本年もよろしくお願ひします。



3学期始業式

始業式で、私は、水のある容器に移し替える場面を設定しました。その容器とは「ザル」です。「この水に移し替えます」と私が言うと、子どもたちは心配そうに「水がこぼれる」と私に助言してくれました。このあと、私は次のような話をしました。

- 周りの人の助言やアドバイスを聞かずに自分勝手な行動をすると、失敗することがある。人の話をよく聞いて行動しようとする姿勢を身につけてほしい。
- 何かをしようとするとき、「どのようにしたらいいのだろう？」「本当にこれでいいのか？」と考えることが大切である。場面によっては、「何かできることがない？」「手伝おうか？」というやさしい言葉かけがあるとすばらしいと思う。

約2か月半の短い3学期ですが、きっと大きな成長を見せてくれると期待しています。失敗することもあるかもしれませんが、それもよい経験です。

学年や年齢を超えて協力し合い、より良い結果を目指してほしいと思えます。これから子どもたちが明るい笑顔で活動する姿が楽しみです。



今週の池島っ子

13日(木)から2人の先輩池島っ子は、さっそく実力テスト。受験を間近に控えた中学3年生は、入試をイメージして教室の時計を外した状態で実施しました。腕時計を準備し、より緊張感をもってテストに臨んでいたようです。また、授業や休み時間には、学年を超えて交流する場面も見られました。昼休みには元気に鬼ごっこをして走り回っていました。新型コロナウイルスのオミクロン株が急速に拡大している状況もあり、制限をかけざるを得ない場面が多々ありますが、元気な表情を見せてくれるのをとてもうれしく思います。

今年度の学校テーマ(合言葉)

「まずやってみる、そして考え、またやってみる。できる！できる！不可能を可能にしよう。」